

採択される観測提案書 家 正則

- * SemesterごとにWeb上で公募要領発表
- * 一般共同利用、サービス観測、大型提案がある。
- * 申請書式3頁とScience Justification 2頁からなる。
- * 英語、HPからLatex templateダウンロードして作成し、電子投稿する。

- 1) 観測目的
- 2) 観測対象
- 3) 観測パラメータ

すばる観測の値段

- すばる建設費：400億円
- すばる運用費：年間30億円×30年＝900億円
- 一晚の値段： 約1000万円
 $(400 + 900) / 30 / 365 = 0.12$
- 平均競争率：約4倍
- 内外の専門家によるレフェリー審査制

申請書式 3頁の中身(1/3)

1. 提案書タイトル
2. 提案代表者
3. 観測対象のカテゴリ(選択)
4. 提案の概要(200語)
5. 共同研究者
6. 提案者の提案内容に関する最近5年間の論文一覧

2 / 3

7. 提案書タイトル
8. 観測(装置、夜数、月相、時期、観測モード、必要最小夜数)
9. 対象天体リスト(名称、座標、等級)
10. スケジュール要請条件(遠隔観測など)
11. 装置要請条件(フィルターなど)
12. 実績経験(すばる観測実績など)
13. 天候条件が悪い場合の作戦

14. 具体的観測法と技術的な詳細
(装置の設定、必要露出時間、必要S/Nなど詳しく)
15. 関連する過去の観測(提案書ID,観測条件、目標達成度)
16. 過去の観測データの処理状況(観測年月、提案書ID,代表者、解析状況、論文出版状況)
17. 学位論文テーマかどうか
18. 大型提案かどうか

科学目的(Science Justification)

この2頁が工夫のしどころ！

観測の意義(研究の背景、観測目的、独創性、すばるを使う必要性、期待される結果、その意義)

観測の具体的中身(観測対象、観測モード、期待されるS/N、必要夜数の根拠、余った時間の使い方、解析法・・・)

審査員を「そうかなるほど」と思わせられるか

SJの書き方注意点(1/2)

1. 審査員は専門家だが、提案書の中身には必ずしも、詳しく無いかもしれない。Science Jargonを避ける。
2. 大きな観点から研究目的をしっかりと書く。関連する重要な文献を引用。不勉強と思われると減点される。
3. 研究の独創性、過去の実績をしっかりと書く。ライバルが審査員になるかもしれないので、ライバルとの違いの書き方は紳士的に。

SJの書き方注意点(2/2)

4. 気の利いた比喻、キャッチフレーズを使う
5. 分かりやすい図表をはめ込む(図中のシンボル、線は大きく太く)。
6. 観測パラメータの具体的根拠(観測モードの選択理由や必要時間の積算根拠など)をしっかりと書く
7. 適度なレイアウトで書く。熱意が伝わる読みやすい提案書にする(細かすぎ、空白残りはだめ)。
8. スペルミス、文法ミスの徹底チェック(英語力不足はそれだけで減点)